

㈱トステック環境行動計画

平成23年12月8日

取組方針

株式会社トステックは、『循環型経済システムの形成を目指しながらユーザーに信頼される品質を満足する』会社方針とし、製品の製造や工事を行います。

大量消費大量生産の時代の中活動していく中で、将来的おきうる鉱物資源の枯渇や廃棄物量の増加に伴う環境保全が重要課題の一つであることを認識し、地球環境との調和、地域社会との融和を図りながら進歩・発展していくことを目指していきます。このため、私たちは、事業活動に伴う環境への負荷を少なくするために、以下の取組を社員一丸となって推進します。

- ① 活動中での省エネルギーと省資源（再利用推進）
- ② 全体部門における廃棄物の分別の徹底と削減
- ③ 5S（整理・整頓・清掃・清潔・躰）の徹底

この方針に基づいて社員一人ひとりが自主的に環境保全活動に取り組むために、取組方針と取組目標及び具体的な取組内容を全社員に周知します。

平成23年12月8日

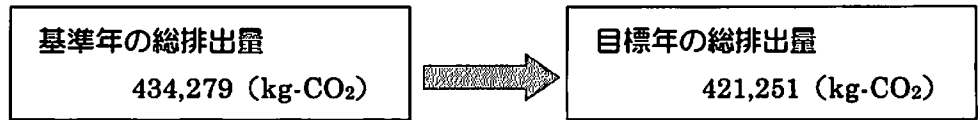
株式会社 トステック

代表取締役社長 川北 昇一

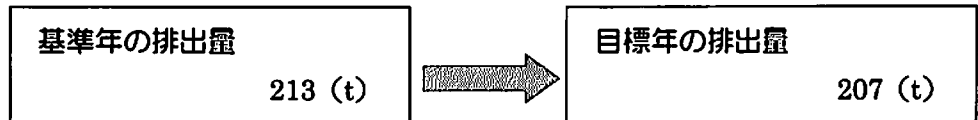
3 環境負荷の低減目標

平成 25 年に向けての環境負荷の低減目標は、次のとおりです。(数値的な低減目標についての基準年度は、いずれも 22 年です。)

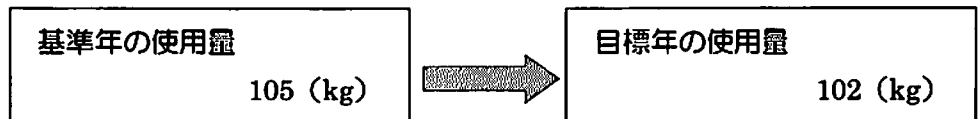
【目標 1】 二酸化炭素の総排出量を 3%削減する



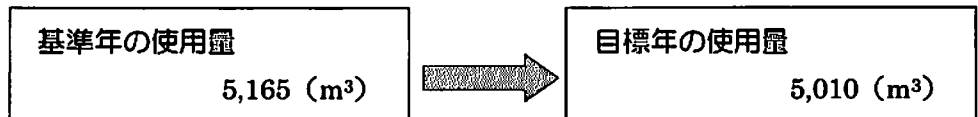
【目標 2】 産業廃棄物の排出量を 3%削減する



【目標 3】 コピー用紙の使用量を 3%削減する



【目標 4】 水使用量を 3%削減する



4 環境保全に向けた具体的な取組

【取組 1】 二酸化炭素排出量の削減

(製造・輸送・処分部門での活動)

- ・ 昼休みと休憩時間には、コンプレッサー等、使用していない機械の電源を切る
- ・ 使用車両機械及び設備の定期的な点検する
- ・ 作業効率の改善により残業時間を少なくする
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する

(事務・営業部門での取組)

- ・ 事務室の空調温度を適正（冷房時 27 度、暖房時 25 度）に設定する
- ・ 昼休み消灯と人のいない部屋の消灯を徹底する
- ・ パソコンとコピー機の節電機能を活用する
- ・ 社用車の効率的な使用（運転経路、相乗り）を徹底する
- ・ アイドリングの防止と無駄のないアクセル操作を心がける
- ・ 車の空調温度を適正温度に設定する

【取組 2】 廃棄物の適正管理と排出量の削減

(産業廃棄物)

- ・ 廃棄物の分別仕様を徹底し、なるべくリサイクル処理できる処分の方法をとる
- ・ 消耗品は使用限度を定め、無駄に廃棄しない

(一般廃棄物)

- ・ 一般廃棄物の種類ごとに排出する量を把握する
- ・ ごみの分別を徹底し、リサイクル・リユースに努める
- ・ 排出する廃棄物を記録する
- ・ 品質の許される範囲で再生製品を優先的に選んで購入する
- ・ 製品をできるだけ長期間使用する

【取組3】 コピー用紙使用量の削減

- ・ 両面印刷、両面コピーを徹底する
- ・ 使用済み用紙の裏面を利用する
- ・ 書類、資料の電子データ化を進める

【取組4】 水使用量の削減

- ・ 配管からの漏水を定期的に点検する
- ・ 雨水を有効的に利用する
- ・ 手洗い場に節水を呼びかける標語シールを掲示する
- ・ 洗車用のホースに手元コックを取り付ける
- ・ 水道蛇口に節水こまを設置する

【取組5】 その他の取組

- ・ 毎月、全社員による現場総点検を行い、5Sを徹底する
- ・ 製品、材料、工具は、決められた場所に返却する
- ・ 大型機械を扱う作業は、効率的な活動を心がける

5 環境行動計画の実施体制

社長を委員長とする環境活動委員会を設け、年度ごとに取組目標の進捗状況と具体的な取組の実施状況をチェックします。